

Vol. 22
春・夏号

うみべの森通信

2011. 9. 1. 発行
うみべの森を育てる会
代表)西台 幸子
090-3942-0902



オオタニシ



マルタンヤンマのヤゴ



ベンケイガニ

アカテガニ



うみべの森に
ホタルが舞う!

ピオトープ・ケロケロ湿地は
水質浄化の取組と自然の繁殖力により、
ますます生物が多様化。

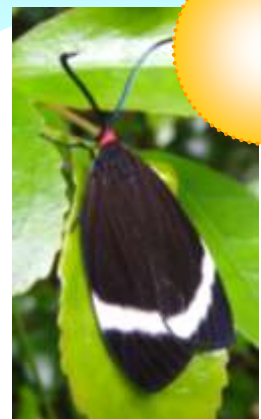
緑が深く茂り、小鳥がさえずり、
チョウやトンボが飛び交う。
にぎやかで命の躍動にあふれる
うみべの森の春夏です。



ツグミ



今年1番咲きのササユリ
(写真提供: 柴田)



ホタルガ



春の学習サポーター



例年より早い梅雨入り、台風の襲来などでサポートスタートより雨天順延で、無事スケジュールを執行できるかやきもきましたが、子どもたちは元気に校外学習を楽しんでくれたようです。小学校へは広報・立石さんが活動記録として作成した写真データをお届けし、サポートもアフターフォローも大変有り難いと先生方より感謝のお言葉を頂戴しております。サポートに参加した会員からは「子どもたちがかわいいのでサポートに参加するのが楽しみ」「日頃の整備作業が活かされて嬉しい」「自分たちも生き物の観察をすることができる」と好評です。

H.23.6.2. 箱作小学校 1年生

「自然とのふれあい」

(児童 30名 先生 2名、保護者 3名)

雨天延期されているうちにカブトムシは次々サナギに。子どもたちが来てくれた時には、少しの幼虫しか観察できませんでした。雨上がりのぬかるむ足元も気にせず、カブちゃんベッドへのチップのバケツリレーを元気に頑張ってくれた1年生です！



腐食したカブちゃんベッドの木枠を活動日に補修。子どもたちを迎える準備は万端！

H.23.6.14. 箱作小学校2年生

「いそこのいきもの」

(児童 43名 先生 3名)

去年のカブトムシの観察を「覚えてるよ！」という元気な子ども達。最初から積極的にじゃぶじゃぶと水に入って、友達同士仲良く一生懸命生き物探し。興味津々の大きな瞳を輝かせて、説明を一生懸命聞いてくれました。



- ハマヒルガオ
- オカヒジキ
- ツルナ
- ハマウド
- マツバガイ
- ツメタガイ
- カメノテ
- ヒライソガニ
- イソガニ
- ケフサイソガニ
- ミスクラゲ
- イトマキヒトデ
- ダイダイ
- イソカイメン他

H.23.6.15. 箱作小学校 4年生

「田山川の水生生物観察」

(児童 46名 先生 6名)

梅雨の豪雨で予定を延期、実施した日も水量が多く流れが速いため、生き物を探すのは難しいかと思われましたが、子ども達は水の冷たさも気にせず、生き物捕獲の容器や網なども持参して一生懸命取り組んでくれました。



遊来の滝 ⇒



- ヌマエビ
- スジエビ
- サワガニ
- カワニナ
- カワムツ
- アカハライモリ
- モクスガニ
- ケフサイソガニ
- アカテガニ
- クロベンケイガニ
- アシハラガニ
- フナムシ 他



うみ森日記

会 員： 生熊 絹子



阪南市に住んでおおよそ 40 年、海と山に囲まれた自然がいっぱいの町。でも知らないことばかり。たまたま町おこしの行事に参加し里海公園に来ました。笹ゆりの咲いている時季で、案内して下さったのが「うみべの森を育てる会」会員の方でした。自然が自然のままであるためには、管理し維持し育てることの大切さを痛感しました。「うみべの森を育てる会」会員の皆様の一生懸命だけどゆったりとした雰囲気に感謝しつつ参加しています。



カスマグサ

イベント!



クロガネモチ

- クサフグ
- オニオコゼ ⇒
- ヒメハゼ
- アイナメ
- ナベカ
- ドロメ
- アナハゼ
- ボラの稚魚
- アカニシ
- ヒザラガイ
- ケガキ
- バフンウニ
- ブドウガイの卵
- フサゴカイ
- ヒライソガニ 他



H.23.6.4.

大阪湾生き物一斉調査

一般参加者48名

調査地域担当団体・里海くらぶの一員として一般参加者のサポート。今年は人工磯浜・砂浜海岸で実施。磯に打ち寄せられるアオサを地引網で採集。海藻の中に潜む生き物や海藻と一緒に捕獲された魚などを、大阪府水産技術センターの鍋島先生に同定して頂きました。

H.23.7.30.

夏休み！ うみべの森で竹工作！

一般参加者 23名

夏休み恒例の工作イベントは今年、1本の竹から3種類の笛をつくろうというテーマでした（写真左からブーブー笛・うぐいす笛・ピヨピヨ笛）未就学児から小学校高学年まで幅広い年齢の子どもたちが参加。保護者に見守られながら、または一緒にノコギリを持って一生懸命作ってくれました。工作見本の中からさらに工作にチャレンジする子、笛を吹きながら森の中を駆け回る子、夏休みのひと時をうみべの森で楽しく過ごしてもらったことができたようです。



↓ たくさんの竹工作見本



H.23.6.7.

大阪府「高齢者大学」30名 ササユリ見学



H.23.6.19.

泉佐野丘陵緑地パークレンジャー25名 活動体験

うみべの森や磯を訪問して下さった皆さんです

うみべの森



H.23.6.14.

岬町淡輪「長生会」41名 ササユリ見学



H.23.6.26.

泉佐野ボーイスカウトビーバー隊 20名 磯観察

運営委員会からのご報告



H.23.3.27. 第10回定期総会開催。「4月から10年目。来てくれる人に喜んでもらえる森に」という西台代表の挨拶。森さん編集のビデオを鑑賞してこれまでの活動を懐かしく振り返りました。



「里海くらぶ」として、大阪湾再生推進会議より「魚庭の海」奨励賞受賞。環境学習サポートへの取組に対して表彰されました。



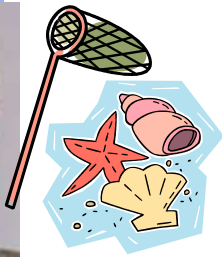
H.23.5.5. 阪南市サラダホール「こどもの日フェスティバル」おもちゃ作りの出展で会員13名参加



H.23.5.14. 箱作自然海岸清掃
自然と本の会主催、第5管区海上保安本部協力。会員10名参加



自然観察会等の各方面でご活躍の三宅壽一(みやけひさかず)さんを当会の顧問としてお迎えしました。海や川などの水生生物に詳しい三宅さん。生き物の興味深いお話を伺うことができます！



どうぞよろしく!



～春、満開の桜～
会報の各所にちりばめた生き物や植物は、すべて活動日や毎月の植物観察にうみ森や磯で観察されたものです。

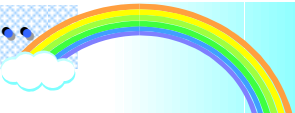
＜平成23年度 新役員＞

代表) 西台 幸子
副代表) 立石 弘一
副代表) 河原 美也子
書記) 傳 雅子
会計) 樋口 清久
森管理リーダー) 中川 正廣
クラフトリーダー) 細井 日出男
植物リーダー) 柴田 正
生物リーダー) 森 芳之
会計監査) 生熊 絹子



…会員を募集しています! ! …

定例活動：毎月第1火曜、第3日曜、
第4土曜 9:30～15:00
※ 不定期でイベント・サポートあり
(夏期休止の場合あり)
植物調査：第3木曜 10:00～12:00
(12・1・2月は冬期休止)
会 員：入会金 500 円 (初年度のみ)
年会費 1,000 円、保険 500 円
賛助会員：年会費 1,000 円のみ



編 集 後 記

「うみへの森のササユリ」は口コミで、少しずつ周知されてきたのか、今年はわざわざ散策に訪れる一般来園者に加え、団体さんも見学に来てくださいました。「数が増えたねえ」と毎年楽しみにしてくださる方もいて、我々の活動の励みになります(^)活動日はこつこつと地道な作業ですが、ササユリもしかり、表紙写真のホタルなども、自然は私たちの取り組みにきちんと応えてくれていますね!

記録：立石 校正：西台
印刷：森 編集：傳